



9月 えんだより



ともしび保育園 9月2日発行



『もしもの時に...』



今年の夏も猛暑が続き、暑さとの闘いだったように感じます。闘いと言えば、今年はオリンピックも開催され、さらに熱い夏となりました。深夜の応援で寝不足になったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。精一杯頑張っている姿、諦めないでやり抜く姿だけでなく、それまでの過程にも注目することで、さらにスポーツを楽しむことが出来ますよね。子どもたちも、日々の経験から力をつけ、成長していく姿が多くあります。保育園の生活の中でも、努力した経験から得られる達成感や感動を、一つでも多く感じてほしいと思っています。

感動で溢れたオリンピックですが、少し前を振り返ってみると、新型コロナウイルスで東京オリンピックの開催が延期になったり、これまでになかった感染対策が重要視されたりと世の中が大きく変わりました。しかし、そのような状況も少しずつよい方向へと進んでいるように感じます。(感染症に関しては、引き続き感染対策や一人ひとりの意識は大切です) コロナだけでなく、災害など、過去の出来事を忘れずに、その時の苦しみや、悲しみが繰り返されないように...、自分たちに出来ることを考えていけたらと思います。



自然災害も、ここ数年は様々な地域で発生し、人々の生活を一瞬で変えてしまうという現実を突きつけられました。

保育園では毎月避難訓練を行っています。乳児クラスは、非常ベルの音に驚いてしまう子もいますが、毎月行うことで、訓練が始まると、保育者の方を見たり、側に来てみんなで身の安全を守ったり咄嗟の行動に変化を感じ、訓練の大切さを実感しています。幼児クラスでは、自分たちで考えながら「速やかな避難」が身についているように思います。子どもたちの命を守るために、また、子どもたち自身も自分の命を守ることができるよう、日ごろから『備える』ようにしたいです。今年度も、ともしび保育園では避難降園訓練を行う予定です。様々な事を想定し、迅速な行動ができるようみなさんと実施したいと思っています。



暑さも少しずつ和らいでくるのでしょうか。季節の移り変わりを楽しみながら、子どもたちと楽しい経験をたくさんしていきたいです。

田原 由紀子